120ページ
サークル モブライブ
思ってたのと違うエルフが現れた！

じゅぽッ
じゅっ
ゆさゆさッ
ぬぷッ
くちゅ
思い知るがいいっ！

魔物や魔法が存在する異世界の村で転生して十数年――

オギャー

転生する際神を自称する謎の爺さんにチートを貰い

ペッ

←俺

俺は周囲を圧倒する強さを手に入れた

スキル

剣術

格闘

身体強化

見切り

頑健

その後無事成人となり外の世界へ

あばよッ

理由はただエルフと会いたいが為である

異世界と言えばエルフでしょ？

と言う位に俺はエルフが好きだったた

しかしこの世界のエルフは目撃されることすら非常に稀な存在らしく

俺は持ち前のチート能力を頼りに何年もの間国々を彷徨い歩き

前人未踏の魔物領域にまで足を延ばした

そしてついにエルフが隠れ住むと古い文献に記された

太古の大森林へとやってきたのである

そして
数か月後

ハァ
ハァ
普通に遭難した

エルフの
エの字も
見かけない

ゲゴゴ
見かけるのは
醜悪で強力な
魔物だけ…

長年苦労して
掴んだエルフの
情報は嘘だった
のか…？

パチパチ
パチ

……うぅ
ヨロリ
ふら
ふら
疲れたし
喉が渇いたな

すっ
!?
るぅ

ガサ
ザザ
ぅぅぅぁ

ザザザ

ピチャッ

チャプ

え

サッ

あ、あの笹のような耳は・・・・！

ひょこ

・・・・貴様

間違いない

ムチ

ムキッ

ザブッ

エルフだ・・・・

だ、だけど

ボリッ

お、思ってたのと違う・・・

むんず

何が違うのかしら～

ぐぐっ

あらあら～珍しいわね～
人族なんて久しぶりに見たわ～
ア
ガッ
ギィ
ギィ
こんな場所に何の用かしら？
バヨ
バヨ
応えないと首をへし折るわよ～

イリーナ
その状態ではしゃべれんぞ
あらまぁ～
ブク
ブク
びく
びくん

それじゃこうするわ～
シュルル
シュルル
すっ
すっ
う、うおお!?なんだッ、蔓がっ

まったく
ブラーン
これは植物魔法か…！
結界を張っていたのにどうやって入ってきたのだ…
突然上から落ちてきたのよね～
まぁいい
シカ

チャキ
情報を吐かせてさっさと殺そう
ひいいいっ

もう短気はだめよ～エルン

ムっ！止めるなイリーナ！

ほら～よく見なさい

この子こんな状況で勃起してるわ～

!?

……チッ！私の身体を見て欲情したか！

もりっ

ふふ…♥

ねぇ人族く～ん

ずぃっ

今すぐに死ぬか～

選ばせて

たっ楽しむ方でお願いしますッ！

少しの間でも私と楽しむか

すりすりッ

へろり

面白いじゃない…♥

はぁ…

ビビビビビビ
あら～…♥
ボロン
これは中々の大物が出てきたわね～♥
くっなんて気持ち悪い形だ…！
うふふ♥そお？
ぬち
ぬち
びくんっ
レロォ
はァ
キノコみたいで
おいしそうじゃない～

あぁ・・・！
なんてこった！
長年俺の人生を掛けて追い掛けてきたエルフがっ
こんなデカムキ女だったなんて
くっ・・・！だ、だが
しかしっ
ちゅる
ひくっ

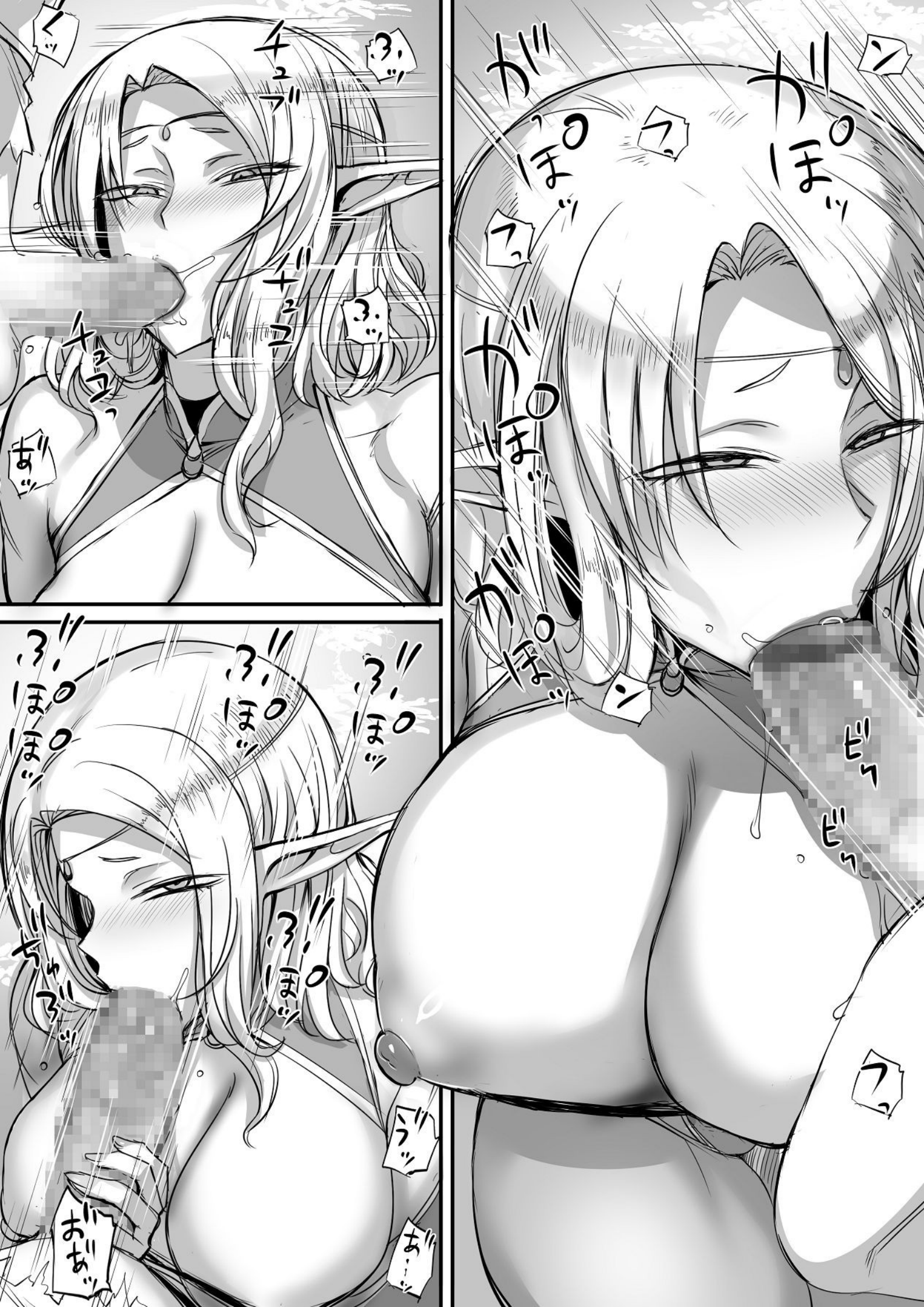
これはこれでッ

エロいっ！

こんなエルフ認めたくないけど！

悔しいけど…っ

勃起するッ


ンッ
ガッ
ほっ
フッ
ガッ
ほっ
ガッ
ほっ
ンッ
ビクッ
ビクッ
フッ
ぐっ
チュプッ
ぢゅっ
チュプッ
チュプッ
あぐっ
ぢゅっ
ほっ
ほっ
ほっ
ほっ
ほっ
ほっ
ぢゅっ
ぢゅっ
ラッ
おぢぃっ
あ…

ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ

んッ♥
ギュッ
ギュッ
ビグビグン
ゴくゴくゴくゴくッ
ジオオッ
んッ♥
ちゅぽん
ひくっ
ひくっ
はぁ…♥
フッ
フッ
フッ
フッ
ちゅるッ
ドププッ
ちゅるッ!ちゅるッ!
がくッ
がくッ
ふふッ
いっぱいでひゃわね〜♥
ひくッ
じるお
えぇ〜!

ンふ〜…♥

濃い子種♥

ペろ

やっぱり若いオスは違うわ〜♥

ンっ♥

ごくん…♥

ふんっもう十分だろう

さっさと帰るぞ！

まだ始まったばかりよ〜

ひき

ひき

見なさいこのおちんちん♥

益々デカくなってるわ〜

イリーナ
ヤるならば
さっさと
済ませろ

私は向こうに
行って――

何を言ってるの
エルン～？

きょっっ

交尾するのは
あなたよ～♥

は!?

な、何を
言っているっ

なぜ私が
こんなドチビな
人族と・・・っ

あせ

あせ

エルンは
今年で丁度
１００歳
でしょ～

いい加減
男を経験
しないと
だめよ～

すっ・・・

やっぱり
エルンでも
始めては
怖いの
かしら～

ブラ
ブラ

それとも～

ばっ

ちっ

下らん
挑発はやめろ

……ふんっ
ミシメッ
だがしかしっ！
ブッ
ハリラッ
敢えて私はその挑発に乗ってやる！
ドサッ
いてっ
この肉棒を入れるだけの事に
ぬちィ
この私が恐れる事など有り得ん！
ひくんっ
ではいくぞッ
人族ッ！
あっはい…
ずるるッ

むんっ！

ぶるるー

ぶるる

ずりゅッ

ミチ

ミチ

ずりゅりゅう

ギチィッ

ビチ

ビチ

ふぐおぉッ！

ふぅ

ふぅ

ふぅ

私のっ膣の力っ

ゆさッ

ゆさ

ゆさッ

くちッ

ぬぷッ

思い知るがいいっ！

ミチッ

ミチッ

ふんっ！この程度かっ

やはり性行為なぞっ

たいしたことはないなっ！

エルン～回復魔法かける～？

無用だッ！

この程度の負傷っ！

かすり傷と変わらんっ！

んッくっ
ふっ・・・ッ
はッ
はッ
よしっ
コツがっ
はッ
分かって
きたぞ！
バルっ
バルっ
はすッ
はすッ
はすッ
はすッ
はすッ
ズッ
ジュ
うっあぁっ
いっいクぅ
ヒリ
チュン

ふんっ！もう降参かッ！
雑魚めッ！
このままッ私の中でッ死ぬがいいッ！
ぶるんっ
だぷッ
スリ・ッ
スリスリッ
スリスリッ
スリッ
ぶじゅっ
ぐじゅっ

ぐッ
ビュ
ふぅ…♥
ジ…♥
これでッ
私の勝利だッ！
ぞく
ぞく
ブル
ブルル
ぴゅッ
ぴゅッ
ぷぷッ
ぴぷッ
ビュ
ビュ
あァッ
びくッ
びくッ

はっ
ぶびゅッ
ぶびゅッ
んッ
ぐぽッ
ぐぽッ
……ふんっ
なるほど
これが貴様の射精力か！
ブーン
ブーン
だぱぁ
面白い！
少し興が乗ってきた！
このまま続けてヤるぞっ！

ダメよ～エルン♥

ずるい…！

次は私の番なんだから～

……結局お前もヤるのではないか

んふ～♥

当然よねぇ～♥

のし

ぬちゅ

ぬちゅ

人族くんとの子作りなんて

ムチュ

ひく

ひく

滅多にない

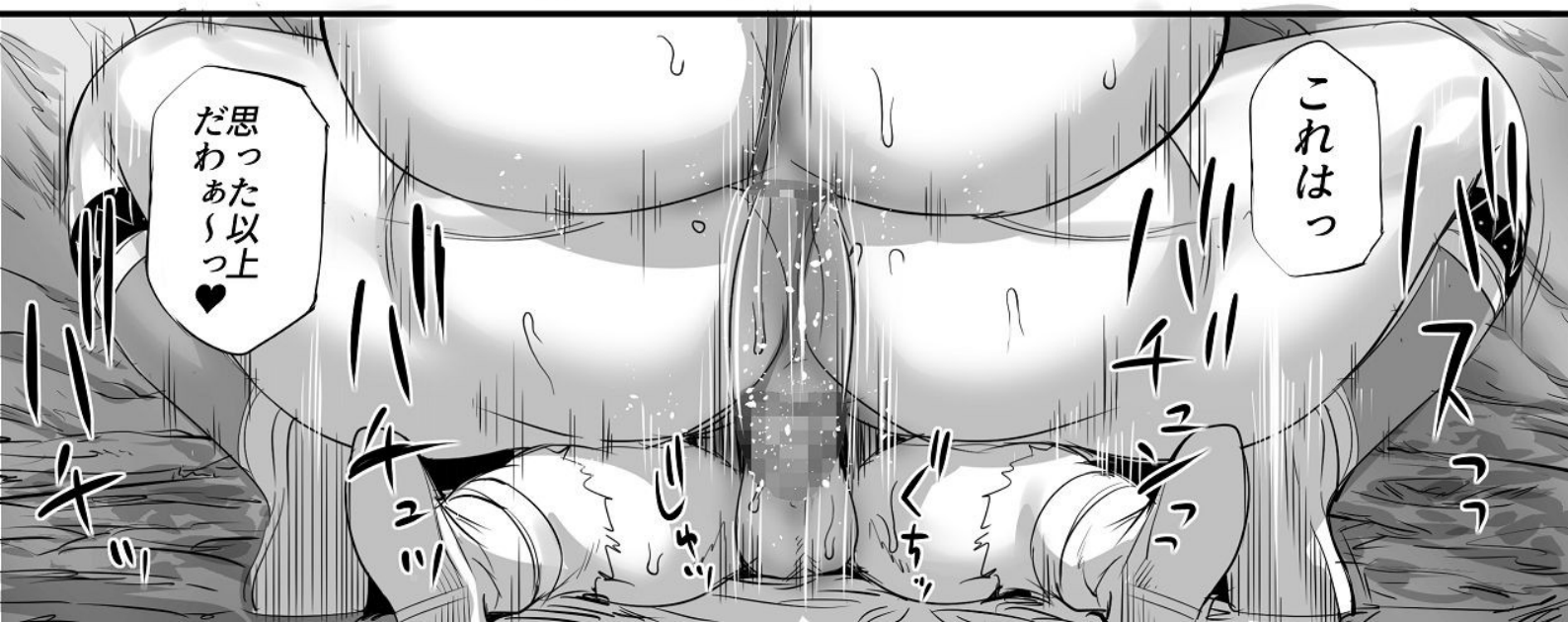
機会だものぉ～♥

すりすり

んっふぅ～♥
見てなさ～いエルン～♥
ぬちゅッ
ずちゅッ
ずッ
ずちゅッ
ぬちゅッ
ズッ
グチッ
はッ
パン
はッ
はッ
パン
私がっ交尾の手本っ♥
ばるんッ
見せてっ♥
ばちゅッ
ばちゅッ
あげるわぁ～♥
ばすッ
ばちゅッ
グリュッ
グリッ

んっ♥ふっンはぁ〜っ♥♥

いい感じのっチンポぉっ♥



ぱんッ
ぱんッ
ぱんッ
人族君もっちゃんとっ
楽しんでるかしら〜♥
ぱんッ
ぱんッ
ぱんッ
うっぐっはいいいっ
ハッ
ハッ
調子のいい人族君ね〜♥
ブルン
ブルルン
ズチュ
ヌリチュ
ハッ
ハッ
ばすんッ
ヒクッ
ヒクッ
とちゅ
ンふふっ♥さっきまで怯えてた癖にぃ〜♥
真のエルフマンコっきもちいいっ
ブチュ
ブッ
ばちゅッ
とちゅ

うぅっもう
イきそうだっ

だめよぉ～
だめだめぇ

今イったらっ

その首を
ネジ切る
からね～♥

ひいっ

んふふっ
すご～い♥♥

人族くんの
ちんちん♥

一気に固く
なったわ～♥

ほらほらぁ～♥
頑張ってぇ人族く～ん♥
もっと私を楽しませなさいな～♥
あっ
あはっ♥チンポが膨らんできたぁ～っ♥
もう出ちゃうのねぇ人族くんっ♥
あっあああっあああああッ！

んっ♥
ぶるぶる
ぼるッ
ビュッッ
ビュルッッ
んあぁっ♥
ビュ
ばるるッ
ビュッッ
ビュルッッ
ひちッ
ひちゃッ

ほっ♥
びく
お・・っ♥
ンふぅ・・・♥
ぶくくッ
ドトトッ
ボポッ
ボッボッ
ドトトッ

ぁン…♥
はぁ…
なにこのチンポぉ♥
まだ射精してるわぁ～♥
ビュルルッ
トプ
トプ
ビュルッ
ぐぽぉ…
んっ♥
ふふ…♥
…♥
…♥
…♥
ご馳走さま♥よかったわよ～人族くん…♥
コポポッ

さっきは殺すなんて言ったけど～
勿論冗談だからねぇ～♥
すぃ
という訳でぇ～
エルン、私決めました～
……何を決めた
トロ……♥
すくっ
この子を飼いま～す♥
わっ
―その後エルフ共はなにやら話し合いを始め―
何を考えて……
エルンだって……
もし……
バレなきゃ……
ヒソ
ヒソ
ヒソ
里には秘密にして
きゅっ
数十分後俺の目の前に紙切れを突き付けてきた
バサっ
魔術契約書だ！
破ればお前は呪われて苦しんで死ぬ！

契約の内容は主にエルフの事を口外しない事危害を加えない事

他にも細かいことが記されていたが

要はエルフにとって不利益になる事を禁じられていた

そして、最後に付け加えられた契約の内容――

じぃ

それは彼女たちとセックスの相手をするというものだった

…

け、契約します

うふふ♥よかった～

それじゃ

パラ パラ パラ

人族君の家を用意してあげるわね～

メキ メキ メキ

ずる ずる ずる

エルフ固有の植物魔法で造った家

ようはヤリ部屋である…。

ん――

そんな感じで
エルフとの
秘密の交流が
始まった

俺はまず彼女達に対し必死に頭を下げ

なんとかこの森での生きる術を教えて貰うことにした

食べられる動植物や

迷いやすいエリア

周辺のヤバい魔獣の知識等々

この辺りは我が一族の狩猟場だ！

他の領域で別のエルフに見つかったら命はないと思え！

特にダークエルフには見つかっちゃダメよ～

その後何故かエルンと模擬戦をする羽目に――

サリッ

さぁッかかってこいッ！

頑張って～人族く～ん

ビュッ

ドカッ

ハキ

エルンは強かった

旅の間戦ってきた誰よりも

うおッ

ハキ

ギリッ

へたり

ま、まいった

ふんっ
貴様！人族にしてはそれなりに力があるようだな！
ぱしっ
チート持ちの俺より強いとかどうなってんだよ
この世界のエルフは！

カッ
だが技術が伴っていない！
この私が！特別に！鍛えてやる！有難く思え！
え～・・・めんどくさいなァ

わな～～～

ガチャ…

そんなこんなで数日が過ぎ

改めてエルンがやってきた

……いらっしゃい

……

俺とセックスするために

くわッ

……何をぼさっとしているッ！

さっさと生殖器を出さんか！

おっオス！

ぬぎぎッ

いいか貴様っ

勘違いするなよ！

きッ

しっ

ぺろり

びくっ

貴様を使って

これは

れろぉ

んっ寝技の修練を

してるだけなのだからな！

ぬ

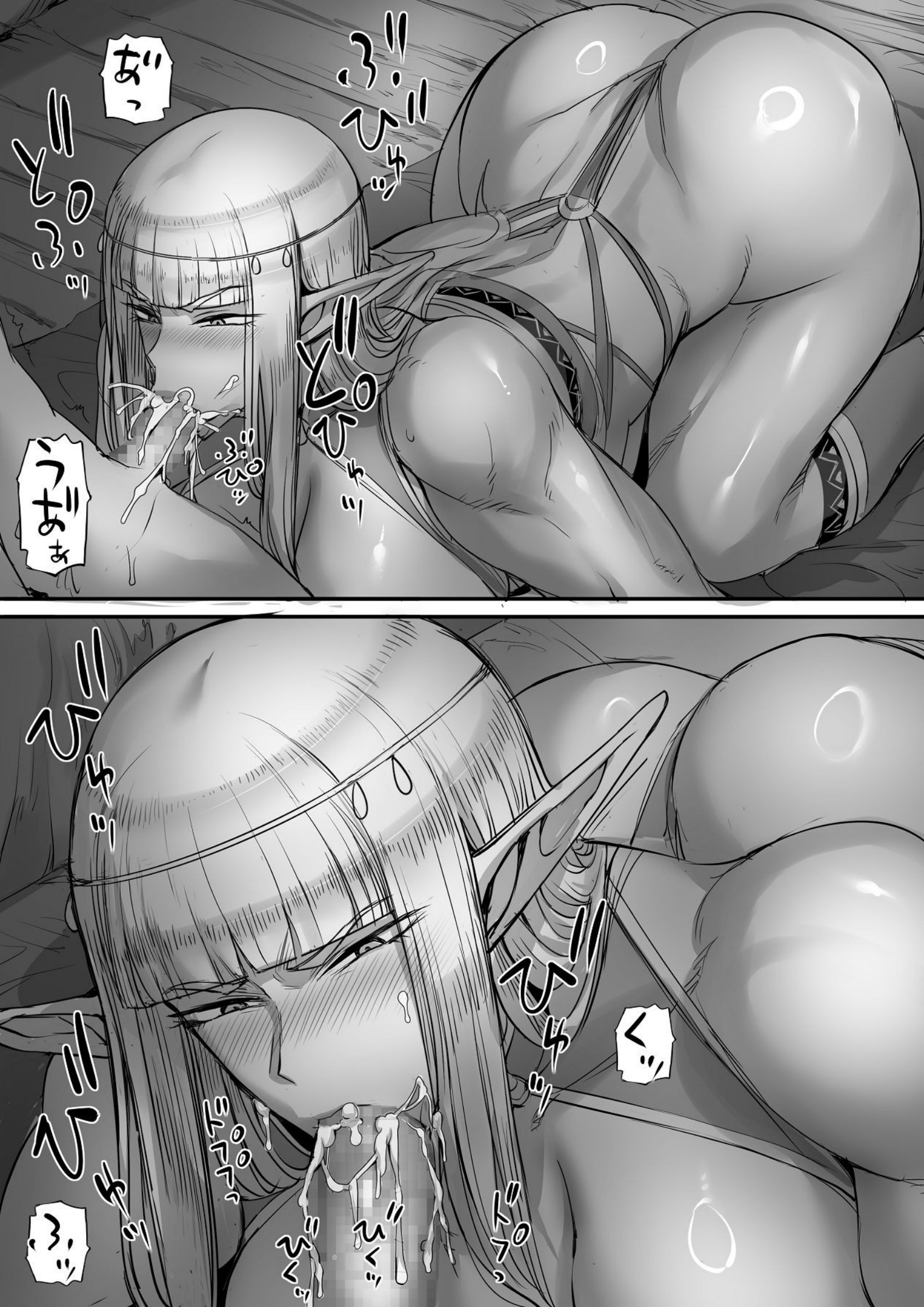
ビクッ

ぼぉ

んっふっンモっ
じゅぽッ
じゅっ
ンっ
ンっ
わらひのっ口技でっ
じゅぽッ
じゅぽッ
ふッ

ぷはっ
屈するがいいっ！
れろ れろッ
びくっ

んッ
うあっ
あっひっ
ふッ
くぽッ
くぽッ
ふッ
ふッ
ぬぷっ
ぬぷっ
あッ
ぢュっ
ぢュっ
ぢュっ
ぢュっ
ぢュっ
でてるッ
びくっ
あッ


あっ
ぶぴっ
ぶぴっ
ぶぴっ
うぁぁ
ぶぴっ
ぶぴっ
ぶぴっ

あッ
うぁッ
ジュプッ
ジュポッ
ゴシ
ゴシ
ゴシ
ジュプッ
ジュポッ
くひッ

ブッ
じゅるるるる
あくッ

キュパッ
不味い！
くちゅ

ぷはぁ
ぬちゃぁ
ふー
ふー
それにこの匂いだ・・・！
臭い！
臭いぞ！貴様・・・・！

…よし次は
ギシッ
貴様が攻める番だ
さぁッ！
かかってこいッ！
ヒィッ
むぁぁ…♥
お、押忍！
ぬろぉー
びくんッッ
ふ、ふんっ
効かんな！
っっ

ふっ
この程度の
ぞく
ぞくッ
うっ
攻め・・・！
ぶるッ
ぎしッ
トキュ
ヌプ チュプ
ぶく
ぶく
ふっ
どうという事はっ
な、ないっ
くちゅ
くちゅ
ちゅッ
ちゅ
ちゅ
ぶ

れろ
れろ
れろ
ふぁっ♥
びくッ
ぐっ
かあぁッ
・・・・ッっ

ふぅっ♥

ぐっンぅっ
ま、まてっ！

はぐ・・・っ
お、おいっ！

ふっふぐぅっ
き、きさまぁっ♥

むっ無視を
するなっ！

や、やめっ

おっ♥

ひっ

くぶっ♥

ぁぁっ♥

ビュクッ♡
ビュルルッ
おッ♡
びくんッ
びくんッ
ブルルッ
ガクッ
オオオオッ♡
ガクッ
ハアッ…
ハアッ…
ぴくッ…
ぱくッ
ぱくッ
くたぁ
……くっ
ふ、不覚を取ったか
ぴくッ
ぴくッ

はぁ
ガリ
キッ
はぁ
ガリ
……おいこの程度の事でいい気になるなよ
まだ勝負は始まったばかりなのだからな！
とろぉ
お、押忍！
分かったのならば
さっさとその粗末な肉槍で
ビキ
ビキ
もりりッ
かかってくるがいいッ！

モタモタするなっ！早く来いっ！
くッ
押忍！
ずちゅうッ
んぅっ♥
ブルンっ
ブルっ
ビくっ

くっっほっ♥

んっンッふンぅ♥

な、なんだ♥

前と感覚が違うっ♥

くっだがっ

これしきのっ攻撃っ♥

エルフの戦士としてっ

おっ♥耐えて見せるッ！

くっおっふうぅっ♥♥

ンっ手加減無用だッ♥

貴様のっ全力でっこいッ！

おっ押忍！

ほっ♥おぐっ♥

い、いいぞ！

なっ中々のっ攻めだッ♥

うっ
あぁッ

も、もう
イきそうだぁ

なっ
なにいっ

ビュ
どぴゅ
ブシュッ
ふっうっ
ブーッ
ブーッ
ブーッ
……ちっ
ふるるっ
ブルル
ビクン
びくくっ
ビュー
ビュー
ブビュビュ
ビュー
ビクン

……おい

は――!

は――

は――……

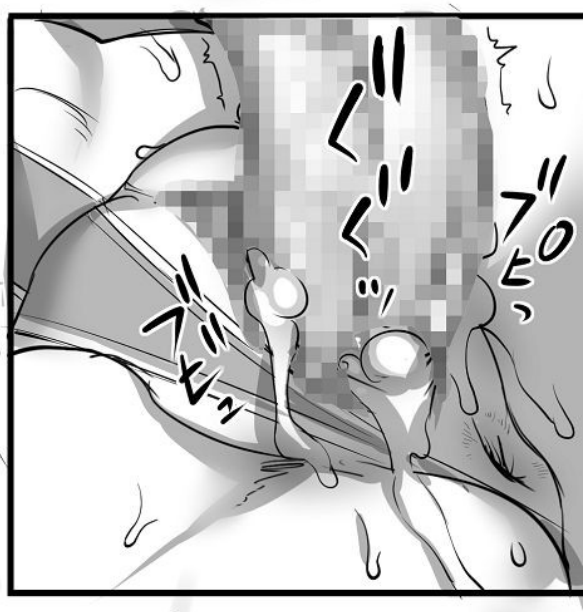
ぶるぶる

びゅっ

びゅ……っ

びゅ……っ

いつまで子種を出している



物足りぬと言っている
!?
カリ
ボリュ
あ、あの流石にもうこれ以上は
貴様！
勝負から逃げるつもりかッ！
ギリッ
ギチ
ギシッ
許さぬ！許さんぞッ！
このまま終わらせはしない！
ギギ
ギ
ドン
メキ
メキ
メキ

さぁ！いくぞッ

うあぁ！

ぬ

ちゅ

やっやめっ チンコこわれるっ

問答無用！

んぎいいっ

トリチュウウ

いいか貴様ッ

私がッ満足するまでッ！

このッ勝負はッ

終わらんからなぁッ！

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ガッ

あッ

気合を入れてっ

肉槍をっ突き上げよっ！

どんな角度でもっ

私は受け止めてみせるッ

くっぐぅッ
もっとだッ♥

ばちッ
ばちゅッ
ばす
ばくんッ
ブルン
ブッ
ブッ
ブル

チンポにッ♥
子種と力をッ
込めよッ！

くっ
ふッ♥

ほっ♥
ぬふッ♥

むぐっ
んおおっ

ふぅっ♥

ふぅぅッ♥

ドンッ
ドスンッ
ドチャッ
ぐちゃ
どちゃ
ギシッ
ギシッ
ギシッ

ビュッ!!
ぶちちッ

数時間後――

ハっ
ふッ
ギシ
どうした貴様っ！
ギシ
集中力がッ
落ちてるぞっ！
おれの負けです
も、もうしぬぅ
ずんッ
くちッ
ずんッ
情けないッ！
それでも男かッ！
ぶるん
バチっ
バスっ
ぶちッ
バスっ
バシっ

根性を出して見せよッ
貴様の肉槍の力はッ
こんなものではッない筈だッ！
ハッ
ハッ
ハッ
ブルンッ
ずぶッ
ずぶッ
ずぶッ
ずぶちゅッ
ずんッ
ずんッ
ズチュ
グブッ
おっおすうッ！
ドッ
チュッ

ドピュ
ゾク
ゾク
ぶるん
うぎっ
ぐあああああ
ぴゅくぐぐぐ
ガク
カクン

…ふんっ

軟弱者めっ！

この程度でへばるとはな！

まぁいい

今日はここまでにしといてやる！

ぬぽぉ

どぱぁ

私は決めたぞ！
こうなったら徹底的に！
甘ったれた貴様の性根をっ
鍛えまくってやるからなっ！
覚悟するがいいッ！
お、おす・・・

隠れ家で暮らし始めて数週間
エルフの森での生活に四苦八苦する毎日である
カンッ
カンッ
カンッ
最近は暇にあかせて家具作りをしたり
キィ…
うーんこんなもんでいいか？
異世界の謎食材で料理研究をしたりしている
グッ
グッ
へぇ～
美味しそうじゃない～
びくっ
うわっ
いつの間に

うふふ♥

いい子にしてたようね～

人族くん♥

すくっ

は～い

欲しがってた香辛料よ～

おぉたすかるっ

ドサっ

イリーナとエレナはほぼ毎日のように交互にやってくる

最近のイリーナは夕食時に乱入してくるので色々とめんどくさい

トク

トク

ごくごくごくごく

ふぁ
ぷはぁ～♪
ちなみにイリーナは酒癖が悪くて正直うざい
嘘ね
ねぇねぇ～お姉さんがいなくて～
寂しかったぁ～？
むにん
あ、ああ寂しかった
チャプ
のしっ
最近エレナと仲良くなってるの
ちゃんと知ってるんだからね～
グビッ
グビッ
ハヒ
ギチ

まったく人族くんたら～
ペろぺろ
小さくて弱い癖に

生意気よねぇ～
ちゅ
ちゅ♥
なんだかうわぁ～焼けちゃう

ムチュ
くちゅ
ちゅぷ

お姉さんだってぇ～
ふッ
れろれろ
くちゅちゅぱ
んッ
エルンに負けないんだからぁ～♥
はッ

んっ♥

ちゅぱ

フーー

はぁ…ぁ♥

フーー

フーー

早くチンポ出しなさい

プルン

もう我慢できないの♥

ぐっ

むぁ…♥

お、おう…

ムキキっ

ビキキ

ふふ…♥人族くんも

準備万端じゃない♥

んあっ

ずぽっ

ンっ♥
あっ♥
パーンッ
パーンッ
あはっ♥
ぬちゅッ
くちゅッ
ぬぬッ
一元気杯ね〜♥
はッ
はッ
はッ
はッ
必死に腰振っちゃってぇ♥
ユサー
ブルン
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
かわいいわあ〜♥

でもねぇ～まだ子宮に届いてないから～

むぉっ!?

手伝ってあげるわねぇ♥

ほら～♥

こうよこう～っ♥

こうやってぇっ

激しくっ

突くのよ～っ

うわぁぁぁ～ッ

びくっ
びくっ
ドドド

ンっ…
フッ
ンんっ
ブル
ブルルっ
ビュルルっ
ビュっ
ビュっ
プリリンっ
ヌポンっ
ぶぶぼッ
はぁぁ
ふるるッ
うふふ…♥ごめんね人族くん♥
お姉さんちょっとだけはしゃいじゃったわ♥
ブピっ
ぶるるるッ

ほらぁ～お詫びのしるしよ～♥

次は人族くんのペースできなさい♥

ぱっ

ぎ

しっ

フー

ビキビキ

ずりッ

ずりゅッ

フー

くそ・・・何がお詫びだ

あんッ

クチュ

自分がヤリ足りないだけだろ！

あッ

ぱちゅッ

ぱちゅッ

ぱちゅッ

ぱちゅッ

ぱちゅッ

ぱちゅッ

あッ

あッ

ギッ

ギッ

ギッ

この淫乱エルフめ！

あっはっンっんっ♥♥

うふふっ♥

がっついちゃってぇ♥

あっンっかわいいわぁ～♥

ぬじゅっ

すちゅっ

ぬるっ

ぬちっ

すぶっ

ぶるっ

ぶるっ

ぎっ

ぎっ

ぎ

ンっっ
もみ
あッ
びくびく
むも
チュっっ
んッ♥
あらあらぁ♥
おっぱいが好きなの～？
はッ
んッ
ブルル
ちゅッ
ちゅぱッ
ぎっ
たんッ
たんッ
たんッ
ぬじゅ
ぐちっ
ぎっ
ンっあっいいわ～♥♥
れろ
れろ
れろ
ちゅちゅ
ビクっ
一杯吸いなさい♥
お姉さんがママになってあげる～♥

ふふっ♥
いい子だわ～♥
あっんっ♥
はぁっ♥
がんばれ
がんばれ～
弱くて
馬鹿で
下等な人族くん♥
んぐおおおッ！
あらあら～
どちたの～♥
おちんちん膨らんでるわよ～♥

びくびくびくび

すぅ
しゅうう…♥
謝ってっ♥
ビクンっ
くちゅん♥

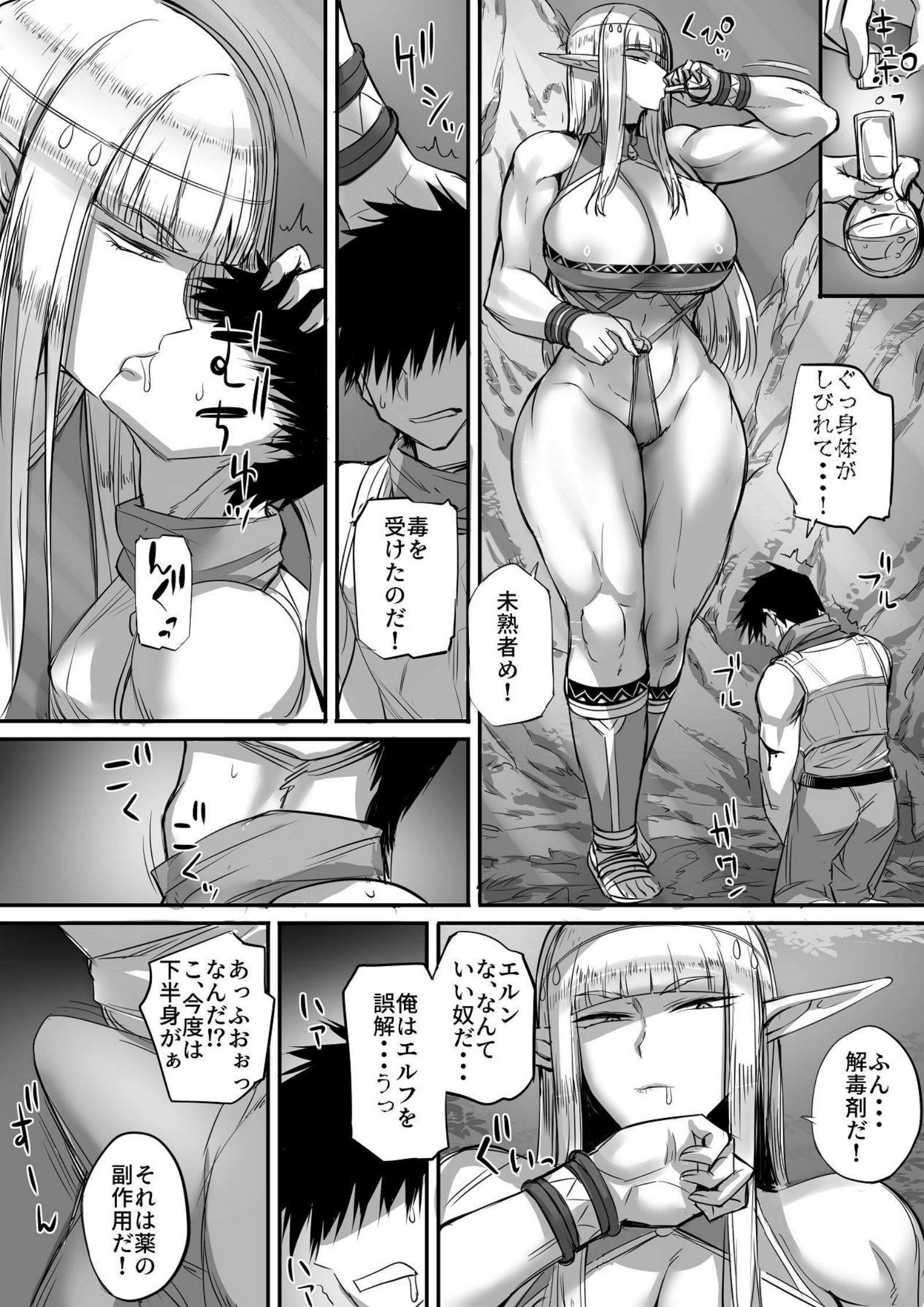
あっは♥
凄いわぁ〜♥
ンッ♥射精しながらっ
ピストンしてるぅ〜♥
ぬちゃ
ぬちゃ
ぶちゅ
ぶちゅ
ぎっ
ぎっ
ぎっ

んっあっいいわっ♥♥
子種全部出し切りなさいっ♥
お姉さんママ孕ませてっ♥
ぶちゅ
ぶちゅ
ぶちゅ
ぶちゅ
ぶちゅ
ぶちゅ
びちっ
びちゃ
ぎっ
ぎっ

ぶるるっ
♥
びくっ
びくっ
ビュッ
ビュッ
ぶるっ
♥
♥
びくっ…
ふ…
ふ…
ふ…
びくっ
びくっ…
ビュッ
どくどくっ
ビュッ
ビュッ
ビュッ

ふふ…♥
エルフは滅多に受精しないけど…♥
ぶぴっ
ぼぴっ
ぼぴっ
ぼぴっ
ぶるん
へろり
出来ちゃうかもね～♥
ぶしゅしゅう
ぶしぶし
はー♥
ぶぽぉっ
はー♥
あんっ♥
はー♥
どぱっ
これだけ注がれたら

ザ ザ ザ ザ
ガッ ガッ
ギン
カッ カッ
ギャ
ギャ
くっ
ちょっと散策しただけでこれかよっ
ザシュッ
ギッ
うおッ
ドオン
エルン!?
ビリビリ
ビリビリ
あ、ありがとう・・・
ふんっ！
コイツが私の獲物だっただけだ！
ビシャッ
それでも助かっ――
あれっ？
フーフぁ


ぐっ身体がしびれて・・・！
未熟者め！
毒を受けたのだ！
ふん・・・解毒剤だ！
エルンな、なんていい奴だ・・・
俺はエルフを誤解・・・うっ
あっふおぉっなんだ!?こ、今度は下半身がぁ
それは薬の副作用だ！

にぎり
た、たのむ
ヤらせて・・・
断る！
それ位
我慢しろ
ぷるっ
お願いします
どうかっ
ヨロォ
見苦しい
ぞ貴様！
うっ
うぐう・・・っ
た、助けてくれ
な、泣くな！
気持ち悪い！
ずるるっ
ぴくっ
ししょお
っ・・だれが
師匠だ・・・ッ
ポイ
ポイ
・・・今回
だけだぞ！
いいな！
ずるるっ
ちっ
ぷりっ
お、押忍っ
流石師匠！
ずるる

ありがとうエルン師匠っ

はッ

はッ

エルンはっ最高のエルフだっ

エルンのマンコ気持ちいいっ！

だっ黙れっ気安くっ

私の名をっ呼ぶなっ！

口を動かす暇があるならっ

腰を動かしてろっ！

早く終わらせねばっ

イリーナに見つかるだろうがっ

さっさと射精しろッ！

くうぅいやだっ

俺はもっとエレナとセックスしていたいっ

な、なんだと貴様っ！

うっくそっ エルンっもう イきそうだっ
パンッ
はッ
パンッ
ふッ
パンッ
ふッ
早くイけッ！ このアホが！
はッ
はッ

あっ うぐっ でるッ
ぐちッ
ずぽッ
くぽッ
ハッ
ふぅ
ハッ
ハッ
ん♡ッ
お♡
ふッ

中にっ 出すぞッ エルンっ！
ふッ
ハスっ
ハスっ
ハスっ
ハスっ
じゅぷ
ぐぽッ
孕んでくれッ

ぱぴぷぴッ
ドビュルルッ
びく
ふーっ
ぴゅッ
ぐぐッ
ビクビクッ
ふーっ
ブルル

…ふ、ふんっ

一度子種を吐き出せば納まるだろう
ボヨ
ボヨヨヨ
世話の焼ける奴め！
びくッ
ビュッ
ビュッ
ビュッ
チチッ
ドパッ
びくッ

ハ――
ハ――
ハ――
ブルルルっ
ビュチチッ
どくっどくっ
ブルっ
…ちっ
まだでるのか
きゅ

…まったく
なにが孕ませるだ

調子に乗りおって！
貴様ごときの種付けで
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
ブプチュ
この私が孕むものか！

ぬちゃぁぁ

ビーッ

ひぃぃぁッ

はひっ

ヌっ

ヌプっ

ずッ

ずッ

ヌッ

ヌプっ

ぎッ

ぎッ

ぎッ

エルンの脇うめぇっ

きっきしゃまっ

ぴちゃ

ぴちゃ

れろッ

れろッ

ちゅぷっ

ふッ

Lッ

ど、どこを舐めていりゅっ!?

エルンはここが
ぴちゃ
ぬちっ
ぬぽぉ
弱いんだな
だっだまれっ私にっ
ぴくっ
ぴくっ
おっ♥ひっ弱点などっ
ぴくっ
ぴくっ
ぴくっ
ぴくっ
はッ
ぴくッ
なっないンいィっ♥♥
ぴくッ
ぴくッ
ぴくッ

くっひっ♥こんなっ卑怯な手っ♥

おっほっ♥わたしはっ認めんぞッ

ンおぉッ♥んぐうぅッ♥

ほぎゅうう〜♥

んひっ♥
おっ♥おほっ♥おのれっ♥
ゆるさんじょっ♥きしゃまっ♥
おらッ
エイけよっルンっ
たぱ
ちゅぱ
むちゅちゅ
ベロ
ベロロ
きゅぅう
ぷしゅっ
ぽっ
ずりゅりゅ
ずりゅっ
ずぷっ
ぶちゅちゅ
ちゅぅぅ

おッ♥
んッ♥
おッ♥
おッ♥
ビュッ
ビュッ
ぶるるっ
ぶるるっ

くッ
び。
ずぽぉっ
はぁっ♥あぁ♥あぁ…♥
おッ♥ッ…♥
おぉぉぉ♥♥
ビクッ
ビクッ
ビュッ
ぱぁ
ビュッ
ビクッ
ビクッ
は
は…
ビクッ
は…
は…♥

よいかっ！貴様っ
ぱん
ぱん
ぱん
ぱん
フッ
ン
ぷっ

あんむっ♥あのような攻めはっ
禁止だっ
ぷっ
ちゅ
ちゅ
ぬちゅ
はっ

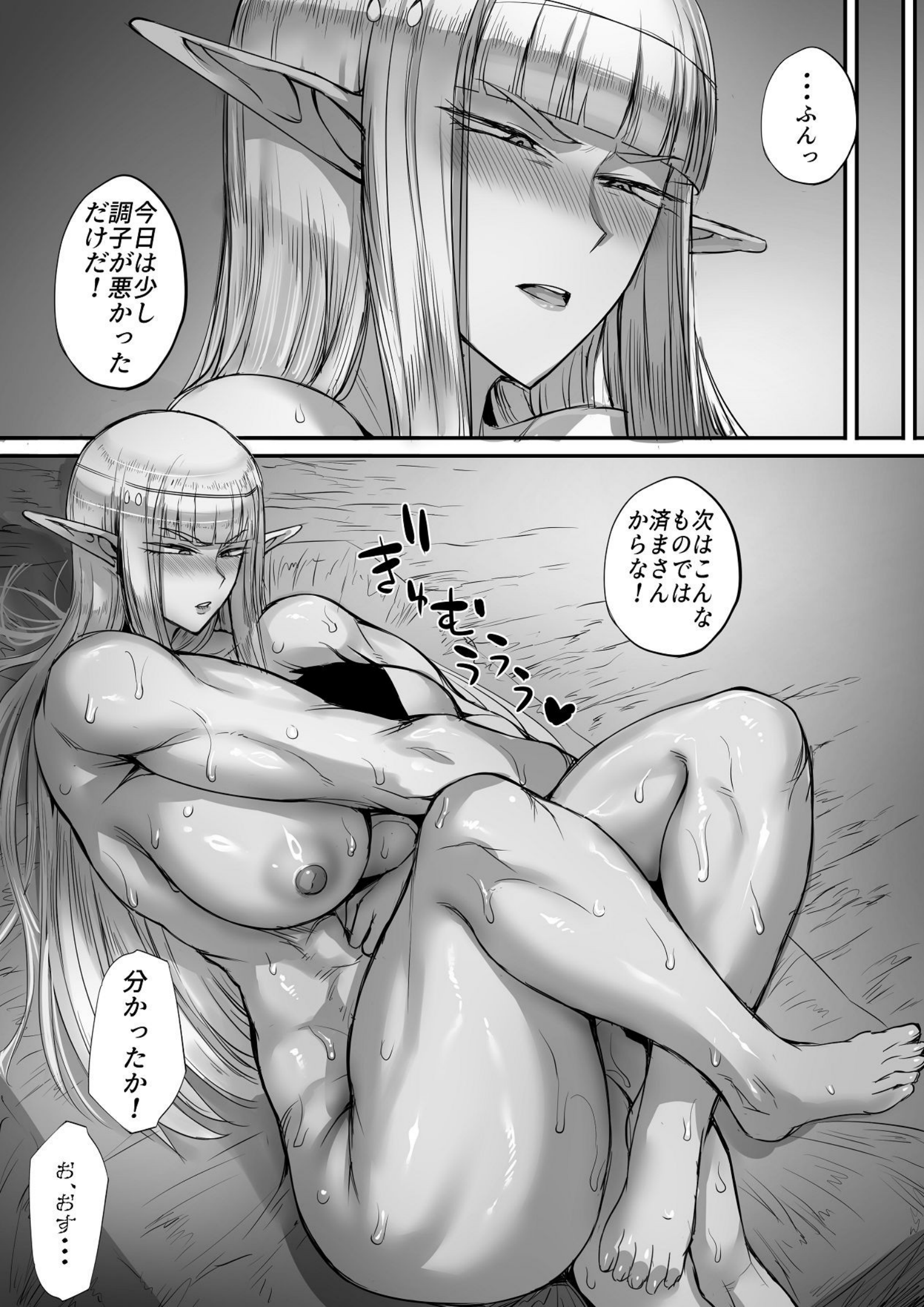
あれをっ貴様の勝利とはっ
断じて認めんからなっ
分かったかっ
ぷっ
ぬる
ぬる
くちゅ
はッ
はッ
ヌッ
ヌリッ
ヌチッ
ヌリッ
ヌチュ
ヌッ

ぷっ
たん
たん
たん
たん
もにもみッ
むぎッ
むにッ
たぷ
たぷ
たぷ
ぷっ
ぷっ
ぷっ
ぷっ
ぷっ
押忍！
ぷっ

ちゅぱっ
ちゅッ
くッ♥
ぬじゅッ
きさまっ
さっきから
乳首ばかり
攻めおって♥
ぶるるっ
ぶるるっ
ぶるるっ

エルンはっだ弱な点っだらけ
ぐっうっっ
いっっ♥♥
だ煩まれっ♥
♥
ぶくっ
ぶくっ
ぶくっ

ぶぽぽ
ぶぽぽぽぽ
ぶぽ
ぶぽ
ぶ


・・・ふんっ
今日は少し調子が悪かっただけだ！
次はこんなものでは済まさんからな！
ぎゅむうう♥
分かったか！
お、おす・・・

剣術を教えるエルンに対抗心を燃やしたのか

ふ〜〜〜

ガミ

ガミ

ヒイ

ヒイ

ニコ

ニコ

イリーナから魔術を教わることになった

ボッ

あ!?

は〜い♥よくできました〜

偉いわよ〜人族く〜ん

なぜか最近俺の事を子ども扱いしてくる…

しかも日が経つにつれ悪化してる気がするのだが

の

し

ぐりぐりぐり

いい子ね〜

どうしたものか…

むにむに

ていうかイリーナって実年齢は一体幾―

人族くん?

ムキュッ

余計な事考えちゃだめよ

ハ、ハイ…

魔力も尽きたみたいだし
今日はここまでね～
ホー
ホー
へへ：ついに初級魔法が使えるようになったぞ
風魔法
火魔法
水魔法
ありがとうイリーナ
うふふ・・・♥
頑張ったね人族くん♥
頑張ったご褒美に～
ゆさゆさ
クイッ
たぷん
人族君がしたいことさせて上げるわ～♥
ごくっ
う・・・・・・相変わらずでけえ

人族くんのおちんちん♥
ぜ～んぶ埋まっちゃってるわ～♥
うふふ♥みてみて～
ど～お？人族く～ん♥
私のおっぱい♥
きもちいいかしら～？

んっふふ～♥
エレナじゃこんな
たんッ
たぷッ
ヌリッ
ヌチッ
たぷッ

気持ちいい事♥
してくれないわよね～
ムニィィィィ～
モニュウウウ～♥
ブルンッ
ぶるッ
ぶるッ

あはっ♥
おっぱいの中でっ
ぱんッ
ぱんッ
ぱんッ
ぱんッ
ぐちゃ
ぐちゃ
おちんちんぴくぴくしてるわ～♥

うふふ～♥
我慢しなくていいのよぉ～♥
ぷるるん
ぷるっ
ぷるっ
ぷるっ

ひゅうう
ぶぶ
ぶぶ
ぶ
ぶ

あはぁ～♥
はぁ
はぁ
子種の量凄～い♥
どぷッ
ぶぴゅう
どんどん湧いてきてるわ～♥
にゅッ
にゅッ

ンっふぅ♥
人族くんが気持ちよさそうで
ヒクン
ヒクン
お姉さん嬉しいな～♥
ぢゅぷ
ぢゅぷ
はぁッ
デロォ
ぴく
ぴく

さぁ…人族くん♥

ぐぃっ

ざしっ

トロン

お姉さんと種付けの時間よ～♥

ゆさっ

ヌチュっ

ビキ

ビキ

ぶちゅうぅぅぅ

ンあっ♥

コレこれぇ♥

びくっ

びくっ

バルンっ

人族くんのっ雑魚ちんぽっ

すごくっ欲しかったのぉっ♥

びくっ

ギッ

びくっ

人族くんの
お馬鹿でっ
下品なっ
性欲っ♥
ぶじゅ
ぶじゅ
ンっあっ♥
お姉さんが
しっかりっ
受け止めて
あげる
からねぇっ♥
ぎッ
ぎッ
ぎッ
ぎッ
ぎッ
くっ
そういう
イリーナ
だってっ
マンコが
ドロドロ
じゃないかっ
このっ
ドスケベ変態
エルフめっ！
ぱんッ
ぱんッ
ぱんッ
ぱんッ
ぱんッ
ぶじゅ
ぶじゅ

あンっ♥ わひぃどぁ～い♥

下等なっ♥ おっ人族君がっ

この私にそんなっ酷いことっ

言うなんてぇぇ～♥

パンッ

パンッ

パンッ

ぐちゅ

ごぷっ

ばすッ

ばすッ

ばちゅッ

ばちゅッ

ばすッ

ばすッ

ズプッ

ぐぷ

お姉さんがこうなっちゃったのはっ♥

あッ♥

はぉッ♥

ぶるんッ

ぶるんッ

おッ

人族くんのせいなんだからぁ～♥

ギシッ

ギシッ

ギシッ

あぁっ子宮ぅっ♥
ごりゅごりゅされるのっきもぢいいっ♥
人族ちんぽっレベルアップしてるぅッ♥
おっ♥おひっ♥
おねぇさん壊れちゃう♥
ぱんッ
ばッ
ばるん
ばるんッ
カリッ
ぐいッ
ぐぢゅっ
どすっ
ずぶっ
どすっ
ぐぢゅっ
ばぢゅっ
ばすっ
ばすー
ばッ♥
あッ♥
あひッ♥
たぷっ
キュウウ
インッおっ♥♥♥
いぐいぐイぐぅッ♥

はぁぁぁっ♥

ドッ

びくっ

ばっ

ぴゅっ

ぴ…

ビクッ

ンおぉ〜♥でてるぅっ♥

ゴプッ

どくどく

ブピッ

あつあつの子種汁♥

ビクッ

あ…

ビクッ

はぁぁ…

子宮で弾けてるぅぅ〜♥

ビクッ

びゅっ
ぼほっ
びゅるっ
びくっ
びくっ
はぁ——♥
はぁ——♥…
びく
がり
どろぉぉぉ♥
びくっ
がり
びく
するんっ
ドボボボ

ぢゅぽ
ぬぱ
ぢゅぽ
ぢゅぽ
ぢゅぽ

ンっ♥
ふっ♥
ふり
ふり
トロ〜
ちゅぷ
ちゅぷ
ぷはぁ…♥
はぁぁ…♥

ひくん
んふふ…♥
もうおっきくなっちゃったわねぇ〜♥
ぴちゃ
ぴちゃ
しょうがない人族くんなんだから〜♥

なぁ
イリーナ

久しぶりに
人族の町で
買い物が
したいんだ

森の外へ出る
道を教えて
くれないか？

教えないわ～

えっ!?

人族君は
ここれから
ずっと
ず～っと

ここで
飼われるの♥

私から
離れることは
許さないわ～♥

人族くんは
なんにも
心配することは
ないのよ～♥

お姉さんが
ちゃ～んと
責任をとって

一生飼って
あげる
からね～♥

…成程
近頃精霊が騒がしかったが
原因はアレか
イリーナめ
掟を破ったな

つづく……かもしれない

あとがき

お買い上げ、誠にありがとうございます！

今回のヒロインは
デカくて筋肉質なエルフということで
少し趣味に走りすぎたなと、反省しております。
とか言いつつ続きのダークエルフを
描きたいなと思っているのですが……。

次回作は現在悩んでいる最中ですが、
心境としましてはダウナー冒険者奴隷の方を
ちゃんとした形で終わらせたいのと
単純に描きたい気持ちが
上がってきたので続きを描く予定です。

毎回制作がグダグダなサークルですが
よろしければ応援の方、
よろしくお願いします！